

B U S I N E S S
R E P O R T
2 0 2 2

第49期 報告書

(2022年1月1日 ~ 2022年12月31日)



クリエートメディック株式会社

証券コード 5187

からだにやさしい
未来の医療を築く





代表取締役社長 谷口英彦

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、2023年3月30日に代表取締役社長に就任いたしました谷口英彦でございます。

まず、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。また、医療従事者の方々をはじめ、感染拡大防止にご尽力されている多くの皆様に深く感謝を申し上げます。

さて、当社第49期の報告書をお手元にお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

■国内の経済環境と医療機器業界

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第8波による感染拡大が見られるものの、感染対策とワクチン接種が進み、経済活動への規制が緩和されたことで、社会活動が正常化に向かっております。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻は、未だ収束の見込みが立たず、原材料・エネルギー価格の高騰が続いているほか、欧米の政策金利による為替変動等の影響もあり、先行き不透明な状況となっております。

■当連結会計年度の営業の概況と業績

このような状況のもと、当社グループは、コロナ禍における医療機関への営業活動に対応するため、ホームページを活用した情報発信やWEBセミナーを推進し、営業面の強化を図りました。

開発面では、中期経営計画の重点戦略分野である泌尿器系製品のラインナップ充実に向けて2022年11月に新製品を上市したほか、国内外の薬事規制や欧州の医療機器規則に対応したライセンスの維持、新規認証取得にも対応してまいりました。

一方、当社グループの生産拠点では、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底するほか、操業停止等のリスクに備えて生産品目の分散化を図るとともに、原材料や仕入品の安定的な確保を目指し、新たな調達ルートの開拓にも努めてまいりました。

以上により、売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により一部製品に欠品の影響があったものの、全ての販売形態が増加となりました。特に海外販売が円安を背景に大幅な伸びとなっております。

利益面では、急激な円安による輸入仕入コストの上昇や物流費用の高騰などにより、売上原価が上昇し、営業利益が大幅な減益となりました。

これらの結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高12,257百万円（前期は11,698百万円）、営業利益737百万円（前期は866百万円）、経常利益809百万円（前期は1,009百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益460百万円（前期は660百万円）となりました。

次に売上の概況を販売形態別にご報告いたします。

自社販売は、新型コロナウイルスの感染拡大により仕入品の一部に欠品が発生したものの、フォーリーやテューマースtent、クリニースキャン等の泌尿器系製品が好調に推移したため、売上高6,986百万円（前期は6,884百万円）となりました。

海外販売は、中国販売の拡大および人民元の為替レートが円安になったことにより大幅な増加となりました。また、輸出販売は欧州向けが引き続き好調であったことに加え、ブラジルなど新興国からの新規受注獲得により、売上高3,930百万円（前期は3,493百万円）となりました。

OEM販売は、外科系、血管系製品が好調に推移したことから、売上高1,340百万円（前期は1,320百万円）となりました。

■対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が普及することにより、経済活動の回復が期待されます。一方、海外においてはロシアによるウクライナ侵攻等の国際的政治・経済状況への懸念や、欧米中央銀行による政策金利の利上げによる景気減速のリスクと、それに伴う急激な為替相場の変動により、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループでは、既存製品の改良を含め、スピード感をもった新製品の開発に引き続き注力するとともに、各生産拠点では製品の安定供給のためにリスク対策とコスト削減策を強化してまいります。

また、営業面では、コロナ禍における活動として、営業デジタルトランスフォーメーションを推進し、医療現場のニーズにお応えできるよう積極的な販売活動に取り組んでまいります。

2023年12月期の業績予想につきましては、新製品の上市や国内外における重点製品への販売強化により、売上高の増加を見込んでおります。

一方、利益面では、収益構造の見直しや原価低減の施策により、利益の改善を図ってまいります。

品質面では、グループ全体の品質管理体制の一段の強化に努め、一層の安全性の向上とともにユーザーの利便性向上に努めてまいります。

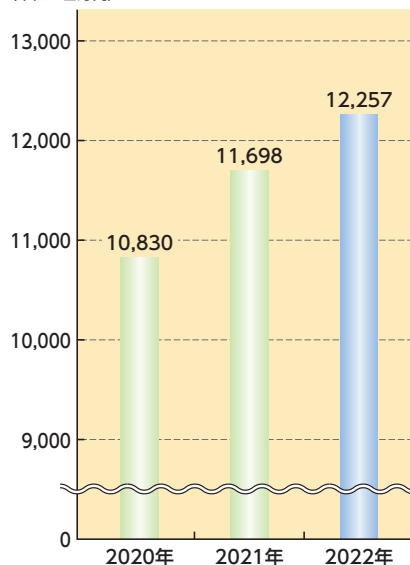
当社グループは利益還元を経営の重要施策と位置付け、今後の収益力向上のために内部留保による経営基盤の強化を図りつつ、安定的かつ継続的な配当を実施してまいり所存であります。

今後の業績向上に全社一丸となり邁進いたす決意でありますので、株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績の推移

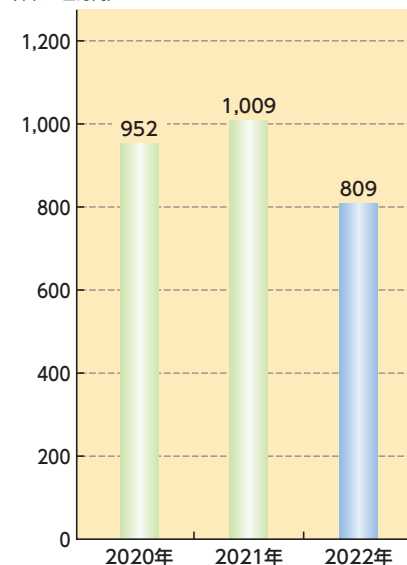
[売上高]

(単位：百万円)



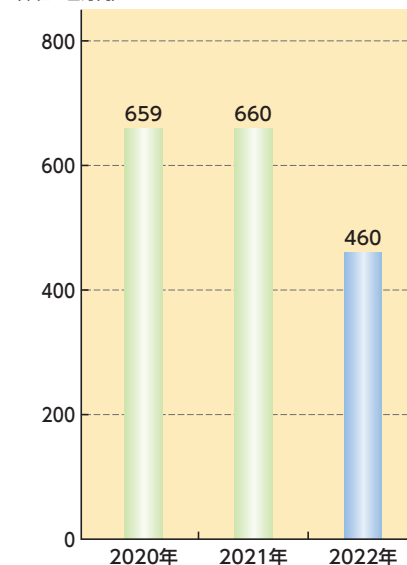
[経常利益]

(単位：百万円)



[親会社株主に帰属する当期純利益]

(単位：百万円)



区 分	2020年 (第47期)	2021年 (第48期)	2022年 (第49期)
売 上 高 (百万円)	10,830	11,698	12,257
経 常 利 益 (百万円)	952	1,009	809
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	659	660	460
総 資 産 (百万円)	17,097	18,075	18,865
純 資 産 (百万円)	13,227	14,220	14,723
フリーキャッシュ・フロー (百万円)	544	663	499
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	71.19	72.61	50.63
1 株 当 たり 純 資 産 額 (円)	1,454.41	1,563.55	1,618.10
1 株 当 たり 配 当 金 (円)	37	37	37

(注) フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローおよび投資活動によるキャッシュ・フローの合計額を表示しております。

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	第49期	第48期
		(2022年12月31日現在)	(2021年12月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
流動資産		12,128	11,575
現金及び預金		4,305	4,359
受取手形		243	－
電子記録債権		1,301	1,246
売掛金		1,978	－
受取手形及び売掛金		－	2,309
商品及び製品		1,898	1,723
仕掛品		857	703
原材料及び貯蔵品		1,092	790
その他		456	445
貸倒引当金		△5	△4
固定資産		6,736	6,500
有形固定資産		5,162	5,080
建物及び構築物		2,435	2,505
機械装置及び運搬具		416	381
土地		1,643	1,658
建設仮勘定		111	133
その他		555	401
無形固定資産		636	686
借地権		165	155
その他		471	530
投資その他の資産		937	733
投資有価証券		547	393
繰延税金資産		327	274
その他		61	65
資産合計		18,865	18,075

科目	期別	第49期	第48期
		(2022年12月31日現在)	(2021年12月31日現在)
		金額	金額
(負債の部)			
流動負債		2,816	2,573
支払手形及び買掛金		487	450
電子記録債務		319	232
短期借入金		800	800
未払法人税等		129	118
賞与引当金		97	56
役員賞与引当金		17	18
その他		965	896
固定負債		1,325	1,282
退職給付に係る負債		1,136	1,202
資産除去債務		9	3
長期未払金		66	71
その他		112	4
負債合計		4,141	3,855
(純資産の部)			
株主資本		13,309	13,365
資本金		1,461	1,461
資本剰余金		1,486	1,486
利益剰余金		10,871	10,931
自己株式		△509	△513
その他の包括利益累計額		1,414	855
その他有価証券評価差額金		55	25
為替換算調整勘定		1,306	867
退職給付に係る調整累計額		51	△37
純資産合計		14,723	14,220
負債・純資産合計		18,865	18,075

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 有形固定資産の減価償却累計額 6,645百万円

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	第49期	第48期
		(2022年1月1日～ 2022年12月31日)	(2021年1月1日～ 2021年12月31日)
		金 額	金 額
売 上 高		12,257	11,698
売 上 原 価		6,882	6,438
売 上 総 利 益		5,374	5,260
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		4,636	4,393
営 業 利 益		737	866
営 業 外 収 益		80	156
営 業 外 費 用		9	13
経 常 利 益		809	1,009
特 別 利 益		27	68
特 別 損 失		－	112
税金等調整前当期純利益		836	965
法人税、住民税及び事業税		400	318
法人税等還付税額		－	△44
法人税等調整額		△24	31
当期純利益		460	660
親会社株主に帰属する当期純利益		460	660

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり当期純利益(期中平均株式数による)50円63銭

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	第49期	第48期
		(2022年1月1日～ 2022年12月31日)	(2021年1月1日～ 2021年12月31日)
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		461	1,248
投資活動によるキャッシュ・フロー		38	△585
財務活動によるキャッシュ・フロー		△355	△442
現金及び現金同等物に係る換算差額		144	109
現金及び現金同等物の増減額		288	330
現金及び現金同等物の期首残高		3,413	3,083
現金及び現金同等物の期末残高		3,702	3,413

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当 期 首 残 高	1,461	1,486	10,931	△513	13,365	25	867	△37	855	14,220
会計方針の変更による累積的影響額			△183		△183					△183
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,461	1,486	10,747	△513	13,181	25	867	△37	855	14,036
当 期 変 動 額										
剰 余 金 の 配 当			△336		△336					△336
親会社株主に帰属する当期純利益			460		460					460
自 己 株 式 の 取 得				△0	△0					△0
自 己 株 式 の 処 分		0		4	4					4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						30	439	88	558	558
当 期 変 動 額 合 計	－	0	124	4	128	30	439	88	558	687
当 期 末 残 高	1,461	1,486	10,871	△509	13,309	55	1,306	51	1,414	14,723

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表 (要旨)

■貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	第49期 (2022年12月31日現在)	第48期 (2021年12月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
流動資産		7,660	7,348
固定資産		6,251	6,174
有形固定資産		3,044	3,116
無形固定資産		445	510
投資その他の資産		2,762	2,546
資産合計		13,911	13,522
(負債の部)			
流動負債		2,398	2,230
固定負債		1,199	1,150
負債合計		3,598	3,381
(純資産の部)			
株主資本		10,257	10,116
資本金		1,461	1,461
資本剰余金		1,486	1,486
利益剰余金		7,819	7,682
自己株式		△509	△513
評価・換算差額等		55	25
その他有価証券評価差額金		55	25
純資産合計		10,313	10,141
負債・純資産合計		13,911	13,522

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	第49期 (2022年1月1日～ 2022年12月31日)	第48期 (2021年1月1日～ 2021年12月31日)
		金額	金額
売上高		9,848	9,456
売上原価		6,513	5,863
売上総利益		3,334	3,592
販売費及び一般管理費		3,727	3,602
営業損失(△)		△392	△10
営業外収益		1,183	537
営業外費用		7	9
経常利益		783	517
特別利益		4	—
特別損失		—	75
税引前当期純利益		788	442
法人税、住民税及び事業税		128	121
法人税等調整額		2	△50
当期純利益		657	372

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■株主資本等変動計算書

当事業年度 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位：百万円)

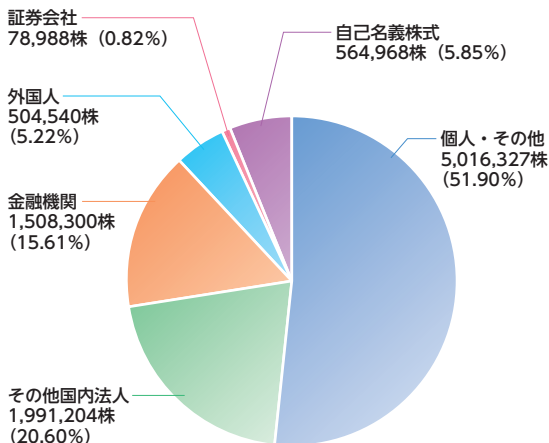
	株主資本										評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主資本 合計	その 他有価証券 評価差額金	評価・換 算差額等 合計	
		資本 準備金	その他資 本剰余金	資本剰余 金合計		別途 積立金	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計					
当期首残高	1,461	1,486	—	1,486	150	4,900	2,632	7,682	△513	10,116	25	25	10,141
会計方針の変更による累積的影響額							△183	△183		△183			△183
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,461	1,486	—	1,486	150	4,900	2,448	7,498	△513	9,932	25	25	9,957
当期変動額													
剰余金の配当							△336	△336		△336			△336
当期純利益							657	657		657			657
自己株式の取得									△0	△0			△0
自己株式の処分			0	0					4	4			4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)											30	30	30
当期変動額合計	—	—	0	0	—	—	320	320	4	325	30	30	355
当期末残高	1,461	1,486	0	1,486	150	4,900	2,769	7,819	△509	10,257	55	55	10,313

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2022年12月31日現在)

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式の総数 9,664,327株
- 株主数 6,174名

株式分布状況



役員 (2023年3月30日現在)

代表取締役会長	佐藤正浩
代表取締役社長	谷口英彦
取締役専務執行役員	赤岡洋三
取締役執行役員	遠藤晋一
取締役執行役員	秋元克也
取締役執行役員	今澤修
取締役常勤監査等委員	橋井敦
取締役監査等委員	原田彰 (社外取締役)
取締役監査等委員	磯貝和敏 (社外取締役)
取締役監査等委員	日暮良一 (社外取締役)

会社の概要 (2022年12月31日現在)

- 本社所在地 〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
- 設立 1974年8月12日
- 資本金 1,461,735,390円
- 事業所 北海道工場、水戸事業所、研究開発センター、11営業拠点 (札幌、仙台、さいたま、東京、多摩、千葉、神奈川、名古屋、大阪、広島、福岡)
- 連結子会社 大連クリエート医療製品有限公司
クリエート国際貿易(大連)有限公司
九州クリエートメディック株式会社
ベトナムクリエートメディック有限会社

製品紹介

クリエートメディックでは、安全性が高く、違和感や苦痛が少ない素材であるシリコンを用いた製品を幅広く取り扱っております。また、高度な技術を背景に医師や看護師など医療従事者とともに、医療現場の様々なニーズを取り込んだ製品開発をおこない、患者様のQOL (Quality of life) の向上を目指しております。

泌尿器系



留置導尿関連製品

全身麻酔による手術後など排尿が困難な場合に、尿道からカテーテルを挿入して膀胱内の尿を排出します。また、持続的な排尿が可能です。



腎瘻(じんろう) 造設術関連製品

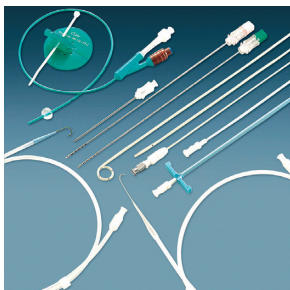
尿管の通過障害による腎後性腎不全などのときに、経皮的に腎臓にカテーテルを留置し排尿することを目的とします。



自己導尿関連製品

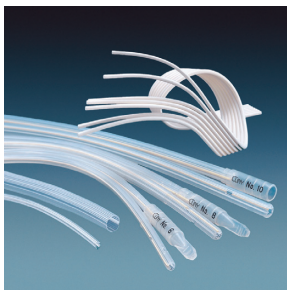
排尿障害などを起こした場合に、患者様が自らまたは介護の方が一定時間毎に尿道にカテーテルを挿入して排尿するためのカテーテルです。

外科系



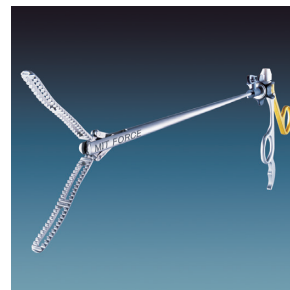
PTCD関連製品

胆管や胆嚢にたまった胆汁を経皮的に排出するキットで、手技に必要な器具が滅菌済トレイに入っています。また、確実性の高い穿刺を可能とする超音波穿刺針を用いて、経皮的にカテーテルを留置します。



ドレーンチューブ

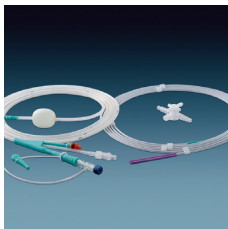
手術後の傷口などにたまった血液や尿などを、外に排出するためのドレーンチューブです。ドレーンから排泄される体液の色や状態をチェックすることで、術後の経過や異常を発見することができます。



腹腔鏡下内視鏡手術用製品

より低侵襲を追求した細径の鉗子で、開腹することなく腹腔鏡下で手術をおこなう際に使用します。

消化器系



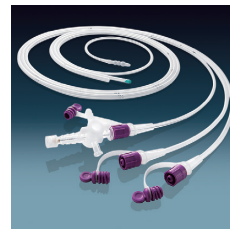
イレウス関連製品

イレウス（腸閉塞）の患者様に、鼻または肛門からカテーテルを挿入して、腸内にたまった内容物を吸引・減圧するために使用します。また、挿入したカテーテルに造影剤を入れ、患部の造影をおこないます。



胃瘻（いろいろ）造設術関連製品

脳血管障害などで自発的に栄養を摂取できないときに、経皮的に胃にカテーテルを挿入して栄養を投与します。



栄養投与関連製品

開口障害や全身衰弱が著しく食物の摂取が不可能なときに、鼻から胃内や腸に挿入して栄養投与をおこなうものです。

麻酔・呼吸器系



麻酔関連製品

術後や末期がんの患者様などの「疼痛管理」に使用される携帯型ディスプレイ付き注入ポンプです。注入量は長時間使用しても安定しており、術後の患者様の痛みを和らげる短期的な使用に威力を発揮します。



呼吸器関連製品

気道の確保が必要で気管挿管が困難な患者様に、気管とその上部の皮膚を切開して挿入する気管切開チューブです。

看護・検査系ほか



看護関連製品

あらゆる尿路ストマー装置や、尿失禁用カテーテルに接続することができ、大腿部・下腿部に固定することで、無理なく社会生活をおくることが可能です。



生検針

生体から細胞・組織を針を刺して採取したり、吸引して採取する針です。

株主メモ

- **事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで
- **定時株主総会** 毎年3月下旬
- **定時株主総会の基準日** 毎年12月31日
- **期末配当の基準日** 毎年12月31日
- **中間配当の基準日** 毎年6月30日
- **公告方法** 電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
- **株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(特別口座の口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社
- **郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **特別口座について**
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



フリエートメディック株式会社

本 社

〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号

TEL (045) 943-2611 URL <https://www.createmedic.co.jp>